りんご農園通信

青森からお届けします！

令和6年 2月

いつもなら80cm位は雪が積っているりんご園ですが今のところは10cmにも満たない程雪が少ないです。雪が少ないことで、りんごの成長に心配な点は数々ありますが…心配ばかりしていてもしょうがないですね。
そんな中、ぷっくりふくらんだりんごの蕾達が「今年も元気なりんごを実らせるよ！」と自分を励ましてくれます。
気候変動で今年のりんご栽培も心配ですが、私達にできる精一杯でりんごを守っていきたいと思います。

技術UPを目指して・・・ UP!

昨年から新しいメンバーも増え、自分も教わることより教えることが多くなりました。
今は剪定を教えています。
木のどんな所を見ているのか、
残す枝や切ってしまう枝の見極めのこと、
自分の知っている範囲で教えています。

教えることで改めて学ぶことができるとアドバイスをもらいました。今、それをすごく実感しています。
後輩たちは色んなことを学ぼうと一生懸命です。

自分も負けないように一緒にレベルアップしていきたいです。　佐藤

冬の装備

暖冬でいつもより積雪の少ないのこの冬。それでも雪が降るときは降るし、寒いときは氷点下の気温になります。

もちろん、りんご畑では防寒対策をしっかりして仕事をしています。一緒に働くスタッフそれぞれ防寒グッズにこだわりがあったり、新しいアイテムを入手して使い勝手やコスパなどの情報交換したりするのが毎年の風物詩になってます。

私がこの冬にあらたに購入したのがコチラ、恐竜??になれるフード付ネックウォーマー。
防寒機能を重視しつつ、オシャレと遊び心を忘れず、青森での冬を過ごしてます。 久米

人生初名刺 初

この間、大湯ファームの一員として自分の名刺を貰いました。今まで名刺を使う仕事はした事がないので人生初です。役職はなんでもいいと言われたので〔鳥獣対策特攻隊長〕となりました!笑

去年は鳥に美味しく実ったリンゴを沢山食べられ、熊に沢山の大切な木を折られました。
とても腹だしいです。

自然界の生き物に対していろいろな思いを持っている方がいるのは承知しております。りんごを栽培している農家としての気持ちとしては・・・

熊が自分の子を守る為に必死になり攻撃してくるように、自分も大切な仲間やりんごの園地を守る為なら全力で対抗しても、自然界において対等だと思っています。

一個でも美味しいりんごを作る為に、「今年は好きなようにはさせねぇぞ」という気持ちで取り組んでいきたいと思います。　工藤

青森りんご産地直送
大湯ファーム
〒036-8124青森県弘前市石川字石川64
TEL：0172-49-7890
FAX：0172-55-0257
メール：info@ooyufarm.com
ホームページ：http://ooyufarm.com